



# こんにちは、 岐教事です！

岐阜教育事務所だより  
5月号 (No. 2)  
平成 29 年 5 月 22 日発行

## ◇平成 28～30 年度 岐阜教育事務所指定研修校を紹介します。◇

4 月 20 日岐阜県総合教育センターにおいて、平成 29 年度事務所指定研修校連絡会が行われました。参加いただいた各校の代表の先生には、自校の研究推進の方向について改めて見通しを明確にさせていただきました。

以下の学校が、岐阜地区管内の教育をリードする指定研修校です。

縣	番	学校名	教科・領域	縣	番	学校名	教科・領域
岐阜市	1	黒野小学校	全教科 全領域	瑞穂市	11	本田小学校 11/24	道徳
	2	岐北中学校	総合的な 学習の時間		12	牛牧小学校	生活科・理科
	3	岐阜特別支援学校	小学部：生活単元学習 中・高学部：作業学習		13	生津小学校 11/10	英語 (特例校)
	4	柳津小学校 11/25	理科・社会 生活・特別支援教育	本巣市	14	席田小学校	国語
羽島市	5	竹鼻小学校	全教科		15	真正中学校	全教科 人権教育
	6	竹鼻中学校 10/23	全教科	羽島郡二町	16	西小学校	特別活動
各務原市	7	那加第二小学校 11/21	全教科		17	笠松小学校 12/1	道徳
	8	那加中学校	全教科		18	笠松中学校 11/14	全教科 特別支援教育
山県市	9	高富小学校	国語・算数・体育・外国 語活動・道徳・特支教育	美濃市	19	北方中学校	全教科
	10	高富中学校 10/13	全教科 特別支援教育				

指定研修校には、次のような役割があります。

- ① 岐阜地区管内より広く教員を受け入れ、勤務を通して研修を深める。
- ② 教育研究に主体的に取り組み、該当市町のみならず、岐阜地区の教育をリードする。
- ③ 研究の成果等を公表（公開授業と授業研究会）する。
- ④ 研修校相互及び研究実践者相互の交流会等を行う。
- ⑤ 悉皆研修等に協力する。（岐阜教育事務所指定研修校実施要項より抜粋）

上表中の、下線の引いてある学校は、本年度公表会を開催されます。右横の数字は、公表会開催予定日です。ご自身の教職経験の多少に関わらず、自校の管理職の先生に事前に相談の上、積極的に授業を参観されてみてはいかがでしょうか。



また、公表会開催予定の学校には、岐阜教育事務所教育支援課学校教育係の担当者が中心となって、児童生徒が「学ぶ実感」を育むことができるよう、積極的に支援させていただく予定です。何卒よろしくお願い致します。



## 平成29年度全国学力・学習状況調査に基づいた指導改善について

**国語**：平成28年2月に、指導改善の視点を2点お伝えしました。

- 漢字の「意味」を理解し、正しく用いる力を身に付ける指導を充実させましょう。
- 「目的や意図」「場の状況や相手」に即して、  
意見や考えの内容を吟味する指導を充実させましょう。

平成29年度の全国学力・学習状況調査の問題から漢字のことについて例を挙げます。

小学校A[7] (1) 漢字を書く。参加たいしょう (対象) 《速報値》 37.2%  
この問題は昨年度の中学校で出題されたA[7]今までにないドクソウ的な考えだ。(独創)が参考になります。この問題は「ドクソウ」の文脈上の意味を理解できず、「独奏」「独走」「独想」としている誤答が多くありました。そこで小中共に漢字について次のような指導が必要です。  
Point! 「獲得させたい語彙」や「学習する漢字」の中で、単位時間の中で取り上げたいものについて意図的に取り上げる計画を立てることが必要です。

➡ **語彙・漢字に焦点を当てた教材研究を行いましょう。**

中学校A[9]五 話合いの記録として適切な言葉を、漢字三字以内で考える。(再検討) 《速報値》 19.7%  
この問題にあるように、「その意味を表す言葉が何か思いつくことができる」という語彙の力は引き続き必要となります。そこで単元や単位時間で次のような指導が必要です。  
Point! 辞書で意味を調べる機会をスタートとして、用例や他に置き換えることのできる言葉を確認する指導を継続して行うことと、それを生徒自身にも行わせる指導が必要です。

➡ **語彙の学習習慣・方法の定着を図りましょう。**

「漢字」「吟味」をキーワードとして、自ら言葉を用いる機会を増やす指導を充実させましょう。

**算数・数学**：平成28年2月に、指導改善の視点を2点お伝えしました。

- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付ける指導を継続していますか。
- 学習内容を振り返ったり、学習したことを発展的に考えたりする指導を行っていますか。

平成29年度全国学力・学習状況調査の問題から具体例を挙げます。

小学校A[5] (底辺と面積の関係を理解しているかどうかをみる) 《速報値》 67.3%

Point! ‘公式の暗記’にならないよう、式の観点からの理解を図る指導も必要です。

中学校A[9] (関数の意味を理解しているかどうかを見る) 《速報値》 29.8%

Point! 用語を正しく用いて説明したり、独立変数と従属変数の違いを意識して「…は…の関数である」という形で表現したりする活動を設定することが必要です。

➡ **算数・数学の用語を正しく用いることを通して、確かな理解を図りましょう。**

小学校B[5] (2) (比較量に近いものを判断し、その判断の理由を記述する) 《速報値》 11.9%

Point! 事象を数学的に解釈したり、事柄を適切に判断し、その理由を説明したりする活動を設定することが必要です。

中学校B[4] (3) (証明した事柄を用いて、新たな性質を見いだす) 《速報値》 45.4%

Point! ある条件の下で成り立つ性質や関係を見いだす学習では、図形の形が変わっても成り立つかどうか考える活動も設定しましょう。本問題では、「正三角形で成り立つことが、正方形でも同様に成り立ちますか?」という問いかけが有効です。

➡ **数学的に表現された結果を事象に即して解釈したり、説明したりする能力を高めましょう。**

他の場面や日常生活の中で使うような終末の場面を設定し、学んだことの定着を図りましょう。

上記の問題の自校採点の結果はいかがだったでしょうか。自校正答率と速報値を比較・検討し、指導改善の方向を見いだしてみてください。